

# Shine

津幡南中学校長 永井 隆和  
1 年学年主任 村上 直哉

## 成長したね！ たくさんの感動をありがとう！

今日で2学期が終わります。と同時に2023年が終わりました。新しい制服に身を包み、校門をくぐった4月。期待と不安が入り交じった中学校生活がスタートしましたね。あれから8ヶ月。みなさんは日々の学校生活や部活動、そして様々な行事を通して成長してきました。その1年を振り返ってみたいと思います。

### 4月…入学式、新しい仲間との出会い、部活動に入部

181名がそろっての入学式。それぞれに緊張した面持ちで校門をくぐりましたね。新しい仲間がクラスに溢れていて、友達ができるか不安でしたね。でも、日に日に話せる友達が増えたよね。中学校と言えば、部活動。体験入部から仮入部を経て、4月末には正式に入部しました。3年生の存在がとてつもなく大きく見えたね。

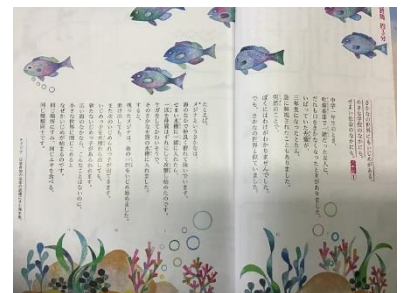


### 5月…初めての中間テスト、校外学習「あがた公園遠足」

初めてプログラム委員会でレクリエーションを考えましたね。クラス対抗のゲームや全員参加のクイズはとても盛り上がりましたね。終わった後の満足した表情や学校に帰って作った俳句にはその充実感が溢れていましたね。中学校初めての中間テストは思い出だね。どんな問題が出るのかな～、難しいのかな～。それぞれが必死になって取り組んだテストでしたね。思っていた以上に難しく、中学校生活の厳しさを感じた生徒が多かったのではないのでしょうか。

### 6月…いじめについて考えたね、3年生県体予選大会、初めての期末テスト

いじめのない集団になっていこうと道徳の時間に「さかなのなみだ」という教材で話し合ったね。傍観者になることはいじめと同じだということに気づいた時間でした。部活動では、3年生にとって集大成となる県体予選がありました。1年生にとっては「最後」の意味がわからず、試合後に3年生が喜怒哀楽を表現している姿を見て、「そういうことなのか」と初めて大会の重さを実感しました。期末テストでは、中間テストの経験を生かし、自分に合った計画を立てることができた生徒が多くいましたね。一つ一つが成長となっています。



### 7月…運動会の準備

9月に行われる運動会の準備が始まりましたね。初めての運動会ということもあり、ワクワクしていました。団決めの集会で、歓喜したことを覚えています。兄弟姉妹が同じ団だった人もいたね。2学期に入ってから運動会練習がとても楽しみになりました。3年生のために一生懸命団の練習に参加する姿が見られました。相手を思いやる気持ちが高まったように感じました。



### 8月…初めての夏休みは猛暑

とって暑い夏。37度を超える猛暑日が続きました。熱中症警戒アラートが発令され、運動が制限された夏休みでした。小学校と違ってたくさんの課題が出されましたね。各教科にサマーワークがあり、とても大変でした。読書感想文や科学研究、絵画もあり……。計画的にやっけていこうと立てた計画もお盆までには崩壊していましたね。そんな中でも、最後はしっかり提出できた生徒は素晴らしかったよ。

## 9月…運動会

初めての運動会は感動の連続でした。まず、小学校に比べて練習時間が短かったことが何よりもうれしかったね。中学生となると一度言われたらできるんだな～って感心しました。自分たちも3年生についていこうと必死にダンスを覚えました。繰り返し練習した日々。流れる汗も拭かずに一生に踊ったあの時間はかけがえないものだったね。

## 10月…校外学習「ジョブカフェ石川・和菓子づくり・県立図書館」、学校祭

キャリア教育の一環として行った校外学習では、働くことの意義や職種、職業に関する講話をいただきましたね。すべてが初めてのことで、たくさんメモを取って学んできました。あいさつは、社会に出てもとても大切なことだと改めて実感することができたね。そして、なんといっても印象的だったのが学校祭。小学校ではない行事に期待が高まりました。1日目のシグナスでの合唱コンクールでは、緊張で足が震えたね。でも、歌い始めると気持ちも落ち着いてきたのか練習の成果を出すことができたね。2日目の各学年の発表や、吹奏楽部の演奏、そして有志によるステージ発表が大いに盛り上がりましたね。「来年はあのステージに立ちたい!」と頼もしい声がたくさん聞こえてきたのは、君たちのすばらしさ!



## 11月…プロ委「授業のレベルアップ」

よりよい中学生を目指して授業改善をみんなで真剣に話し合い、学年全体で取り組みました。どのクラスも活発に声を掛け合いよい習慣が身につきました。活動期間が終わった後も、落ち着いて学習に取り組める雰囲気が継続されています。



## 12月…漢字テストで素晴らしい努力と成果

漢字練習プリントが120枚なくなりました。惜しみなく努力を続ける素敵な姿が見られ、結果も過去最高のものでした。「努力できることが才能」。そこまでに至るプロセスがとても大切で、できたかよりも「やったか」を大切。成長するってこうやるんだね、と自分たちで身をもって感じる時間ができた時間でした。

# 2024年もどんな成長を見せてくれるのか楽しみですよ!



## 14日間の冬休みはこんなふうに過ごしてみよう!



学習において、この冬休みに重点を置いてほしいのは「復習」です。4月～12月の8ヶ月間で学んだ学習した内容はたくさんあります。3年生になって受験勉強を始めてから「分からない」ということに気づくよりは、1年生のうちリカバーできてしまった方が好ましいことは言うまでもありません。

冬休みは、14日間しかありません。5教科それぞれにおいて、宿題であるウインターワークに取り組み、「苦手単元」をある程度ピックアップしておき、そこを14日間で固め直すということを目指して過ごしていけば、かなり効率の良い勉強ができるのではないのでしょうか。

冬休みは、部活や家族の行事、お正月もあります。あくまで重要なのは「メリハリ」を付けて勉強もしっかりやることです。ダラダラと勉強を何時間もしているくらいなら、1日3～5時間と決めて集中して学習する方が身につくものです。

## 最後に「ありがとうございました」1年職員一同

今年も学校教育活動にご理解とご協力、そして温かな支援をいただきありがとうございました。おかげさまで、多くの感動やたくさんの喜びをお子さんからいただきました。来年も、子供たちの成長のために、職員一同、一生懸命に勤めて参ります。どうぞよろしくお願いいたします。それでは、よいお年をお迎え下さい。

